

千葉県佐倉市「佐倉親善大使 任命式」開催

荻野目洋子さん、モンキー・パンチさん、高橋真琴さん、佐藤優香さん、
音楽からスポーツまで多才な4名が「佐倉親善大使」に就任

荻野目洋子さん「音楽のフィールドを超えて佐倉の魅力を発信したい」とコメント

佐倉市シティプロモーション・ブランドメッセージ「佐倉で才能が開花する」も発表



千葉県佐倉市（市長：蕨和雄）は、2018年4月15日(日)、佐倉市役所にて「佐倉親善大使 任命式」を行いました。佐倉親善大使は、佐倉市ゆかりの著名人の方に親善大使を務めていただくことにより、佐倉市の魅力を市内外に発信し、佐倉市の知名度向上とイメージアップを図るとともに、市民の誇りと愛着心を高め、佐倉市の活性化につなげることを目的としています。

「佐倉親善大使」には、漫画家のモンキー・パンチさん、画家の高橋真琴さん、歌手の荻野目洋子さん、トライアスロン選手の佐藤優香さんの4名が就任。任命式では蕨（わらび）市長から佐倉親善大使任命書が4名に授与されました（佐藤さんは代理授与）。蕨市長は「佐倉の魅力を全国に発信していただけることは佐倉が発展していく原動力になります。市をあげて親善大使の皆様の活躍を支援していきたいと思っております」とコメントしました。

また、昨年、自身の大ヒット曲である「ダンシング・ヒーロー」で再ブレイクを果たした荻野目洋子さんは「佐倉では小・中学校時代を過ごし、マラソン、釣り、チューリップなど自然の中でたくさん過ごしました。佐倉の自然の中で過ごせたことで、音楽を中心に様々な面でクリエイティブな発想力を身につけることができました」とコメント。また、佐倉親善大使の意気込みと今年の目標を聞くと、「昨年はたまたまダンシング・ヒーローとバブリーダンスで、皆様に注目いただくことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。若い人たちにも自分のことを知っていただけたので、今年は自分にできることを考え、SNSはもちろん、TVやイベントに出させていただく時には佐倉の魅力を発信していきたいと思っております」と語りました。

任命式当日は、2018年度からの佐倉市シティプロモーション ブランドメッセージ「佐倉で才能が開花する」が発表されました。スポーツ、音楽、芸術など多岐にわたる分野で活躍する人材を輩出している佐倉市の教育環境、人を育てる風土などを伝えるべく、今後も様々な情報発信をしていきます。

■音楽、漫画、アート、スポーツ、多彩な顔ぶれの「佐倉親善大使」

モンキー・パンチさん（漫画家）

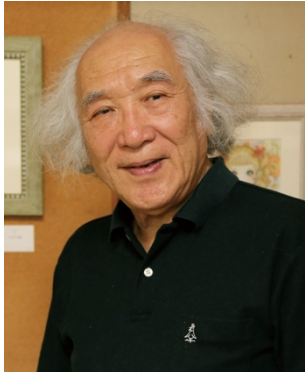


1937年5月26日生まれ。1996年から佐倉市在住。北海道浜中町出身。1965年『プレイボーイ入門』で漫画家デビュー。モンキー・パンチのペンネームで、1967年「漫画アクション」に『ルパン三世』の連載を開始。2002年～2005年の佐倉市広報カレンダー（2002年ルパン三世、2003年～一宿一飯）の原画を手掛ける。2013年、佐倉市立美術館にてルパン三世展。2014年、市制施行60周年記念として、ルパン三世のご当地ナンバープレート（原付）が実現。

<コメント>

「親善大使を命じられたので責任を持って全うしたいと思います。そのためには皆様の力を借りながら大使の役目を果たしたいと思います」

高橋真琴さん（画家）



1934年8月27日生まれ。1963年から佐倉市在住。大阪市出身。瞳に星、花やリボンに彩られた少女画を、1950年代から描き続ける。雑誌の表紙、口絵、挿絵を描くほか、スケッチブックや筆箱といった文具類などで、数多くの少女画を手がける。1992年から現在まで定期的に新作個展を開催し、精力的に作品を発表している。2008年に「佐倉チューリップまつり」ポスター画を、2011年から毎年「佐倉フラワーフェスタ」ポスター画を手がけている。2015年、佐倉市立美術館にて「高橋真琴の原画展～佐倉で描かれた少女たち～」開催。

<コメント>

「29歳から佐倉に住んで50年以上。結婚、子育て、PTAも佐倉でした。お花など佐倉の自然の魅力を伝えながら、佐倉市を盛り上げていきたいと思っています」

荻野目洋子さん（歌手）



1968年12月10日生まれ。佐倉市出身。小学生から芸能活動を始め、中学2年のときに歌手になることを決意。中学3年生で声優の仕事始める。高校1年で歌手デビュー。17歳の秋にリリースした7枚目のシングル「ダンシング・ヒーロー」で初のベストテン入り。翌年にはアルバム「ノンストップ」でオリコン年間売上1位を取り、一方では映画やドラマ、CMにも多数出演。2016年、佐倉市立佐倉中学校創立70周年記念式典で歌唱。2017年、佐倉市岩名運動公園の長嶋茂雄記念岩名球場リニューアル記念イベントで国歌独唱を務める。

<コメント>

「任命いただきとても光栄です。私は音楽という形で皆様にご注目いただけていますが、佐倉の自然、アート、スポーツなど音楽というフィールドを超えて佐倉の魅力を発信していきたいと思っています」

佐藤優香さん（トライアスロン選手）



1992年1月18日生まれ。佐倉市出身。トーシンパートナーズ、NTT東日本・NTT西日本、チームケンズ所属。9歳からトライアスロンに取り組み、中学生時代から注目される。2010年シンガポールユースオリンピック金メダル。2014年日本トライアスロン選手権優勝。2015年W杯トンヨン大会優勝。2016年リオデジャネイロオリンピック15位（日本人トップ）。2017年日本トライアスロン選手権優勝。「こうほう佐倉」2015年4月1日号にインタビュー掲載。

<コメント>

「私は今、オリンピックでのメダル獲得を目指していますが、夢を持ち、挑戦できているのは佐倉市で幼少期を過ごすことができたからです。いつも応援いただいている佐倉市の皆様の想いにお応えできるよう活動していきます」

■ 「佐倉親善大使 任命式」 当日の様子





中世、千葉氏の拠点として、

江戸時代は江戸の東を守る要衝地として
繁栄した、房総最大の城下町、佐倉。

さらに、幕末から明治にかけて、

日本の近代化に大変な貢献をした偉人を
綺羅星のごとく輩出した佐倉。

歴史・自然・文化に彩られた佐倉には、

ひとを育てる風土があります。

現在でも、全国的に活躍する

人材を輩出している佐倉。

誰もがきつと、才能を持って生まれてきた。
その夢が、才能が、佐倉で花開きます。

